

No.01

担当課室	環境部環境保全課	事業名	環境基本計画等推進事業	事業区分	その他事業
事業概要	第2次環境基本計画で掲げる目指すべき環境像「毎日が暮らしやすく、住みやすい環境である一宮市」を実現するため、5つの基本方針を定め、市民、事業者、市民団体・NPO、市のそれぞれの主体が役割を果たし、取り組みを推進していく。なお、計画の進行管理は、環境審議会、環境基本計画・地球温暖化対策実行計画区域施策推進協議会などで行う。また、平成24年4月に策定した地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の温室効果ガス削減目標の達成を目指す。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
341 千円		341 千円		341 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市H30.10.1現在人口：385,709人		対象1人あたり	0.88 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.02

担当課室	環境部環境保全課	事業名	公害規制・監視事業	事業区分	その他事業
事業概要	水質汚濁防止法、騒音規制法などの環境法令に基づき、公害の発生を未然に防止し、事業場の環境法令の遵守状況などを監視することにより、市民の健康を保護し、生活環境の保全に努める。主な事業としては、規制対象事業場の立入検査及び指導、主要河川及び地下水の水質検査、自動車騒音の測定などを行う。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
9,434 千円		9,434 千円		9,434 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	規制対象件数：471件		対象1件あたり	20,029 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.03

担当課室	環境部環境保全課	事業名	環境教育事業	事業区分	その他事業
事業概要	身近な環境課題などを解決するため、環境について考えることができる市民の育成や地域における環境活動リーダーを育成する必要がある。また、次世代を担う人材の育成・確保のため、緑のカーテンを使った環境学習講座、一般向けや子ども向け環境学習講座の実施や幼児環境教育を推進する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
1,985 千円		1,985 千円		1,985 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	受講者及び小中学校の児童生徒：34,074人		対象1人あたり	58 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.04

担当課室	環境部環境保全課	事業名	公害防除施設設備整備資金利子補給事業	事業区分	その他事業
事業概要	(株)日本政策金融公庫小規模企業等振興資金の融資を受けて公害防除施設整備を行った中小企業の事業者に対して、金融機関等に支払う利子の10分の9を助成する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
81 千円		0 千円		0 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△81 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	補助申請者：1人		対象1人あたり	0.00 円
査定結果の理由等	必要性は認められるものの、受給者数の見込みを過去の実績に照らして、計上を見送った。				

No.05

担当課室	環境部環境保全課	事業名	住宅用地球温暖化対策設備設置補助事業	事業区分	変更事業
事業概要	自ら居住又は居住予定である市内の住宅に住宅用太陽光発電システム、燃料電池、蓄電池、HEMS、V2Hを新たに設置しようとする方に、設置費の一部を補助することにより、再生可能エネルギーの普及及び地球温暖化の原因となる二酸化炭素の削減に寄与する。ただし、太陽光については、[蓄電池とHEMS]若しくは[V2HとHEMS]を同時設置の場合のみ補助の対象とする。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
34,450 千円		34,450 千円		34,450 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	補助申請者：505件		対象1件あたり	68,217 円
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.06

担当課室	環境部環境保全課	事業名	地球温暖化対策実行計画策定業務委託事業	事業区分	臨時事業
事業概要	「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成24年4月に策定した「一宮市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」は、地球温暖化対策を取り巻く法律や国・県の計画変更などで情勢が大きく変化しているため、改定する必要がある。温室効果ガス排出量の低減による地球温暖化の抑制に取り組む「緩和策」とともに、それでも避けられない影響に対する被害を最低限にとどめるための「適応策」に取り組む。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
5,500 千円		0 千円		4,037 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△5,500 千円		+4,037 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市H30.10.1現在人口：385,709人		対象1人あたり	10 円
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、事業内容及び要求額を精査し、事業の優先度を再検討した結果、調査項目の精査等、委託内容を見直して要求額を一部減額の上、計上することとした。				

No.07

担当課室	環境部環境保全課	事業名	環境衛生防疫事業	事業区分	その他事業
事業概要	不快害虫の発生を抑制するため、市民からの要望に応じて、側溝などへの薬剤散布を実施する。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
1,222 千円		1,222 千円		1,222 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	薬剤散布箇所 : 23箇所	対象1箇所あたり	53,130 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.08

担当課室	環境部環境保全課	事業名	キノガワフユユスリカ対策事業	事業区分	その他事業
事業概要	ユスリカ研究者に発生状況等の調査研究を依頼するとともに、市としても、国等への情報提供のため、飛翔調査や粘着シート等による調査を行う。また、機能性防虫ネットや粘着シートを設置し飛散防止対策も行う。				
マニフェスト	25 木曾川河川敷・周辺の整備を進めて「健康づくり」の拠点にします				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
625 千円		625 千円		625 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	起、小信中島、大徳、朝日連区のH30.10.1現在人口 : 37,252人	対象1人あたり	16 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.09

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	環境保全・ごみ減量等推進啓発事業	事業区分	その他事業
事業概要	ごみの減量やリサイクル、ごみ出しルール・分別マナー及び空き缶等のポイ捨てなど、市民一人ひとりが環境保全やごみ減量に対する理解を図るため、啓発を行う事業である。主なものとして、10月を一宮市環境月間と定め、大型ショッピングセンターでごみ減量の啓発、親子でエコクッキング講座等を行う。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
4,091 千円		3,995 千円		3,995 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△96 千円		0 千円	
KPI	受益者など (見込)	啓発対象者 (啓発活動参加者) : 16,150人	対象1人あたり	247 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、消耗品費・自動車賃借料を見直して一部減額した。				

No.10

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	ごみ収集運搬事業	事業区分	その他事業
事業概要	<p>家庭から排出される一般廃棄物（可燃ごみ・不燃ごみ・プラスチック製容器包装・粗大ごみ）を環境センターや中間処理施設へ運搬する事業である。</p> <p>・可燃ごみ：週2回収集※ ・不燃ごみ：月2回収集※ ・プラスチック製容器包装：週1回収集※</p> <p>※5月3日～5日が月～金曜日にあたる場合、平成31年度から収集日とする。</p> <p>・粗大ごみ：有料（1点800円）戸別収集</p>				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
731,912 千円		585,363 千円		731,912 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△146,549 千円		+146,549 千円	
KPI	受益者など(見込)	委託業者収集量：50,515トン	対象1トンあたり	14,489 円	
査定結果の理由等	<p>市全体の予算規模を踏まえて一部の委託料を一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、ゴールデンウィークの5月3日～5日が月～金曜日にあたる場合の収集についても取り組んでいくことが、市民の利便性アップなどにつながると判断し、要求額通りに計上した。</p>				

No.11

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	ごみ収集車管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	<p>ごみと資源の収集業務を円滑に行い稼働率を100%にするために車両を維持・管理する事業である。</p> <p>車両保有台数32台（ごみ収集車等の作業車25台、その他の車両7台）</p>				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
23,053 千円		23,053 千円		23,053 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	車両保有台数：32台	対象1台あたり	720,406 円	
査定結果の理由等	<p>事業内容及び要求額が妥当であると判断した。</p>				

No.12

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	ごみ減量化推進補助事業	事業区分	その他事業
事業概要	<p>「台所ごみ減量作戦、生ごみで堆肥をつくろう」のキャッチフレーズを掲げ、生ごみ簡易堆肥化容器（コンポスト）、生ごみ発酵用密閉容器、電動生ごみ処理機を市内の指定販売店から購入した場合に補助を行い、ごみ減量を図る事業である。</p>				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
1,740 千円		0 千円		1,740 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△1,740 千円		+1,740 千円	
KPI	受益者など(見込)	補助申請者：150人	対象1人あたり	11,600 円	
査定結果の理由等	<p>市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、ごみ減量化を推進する上で必要と判断し、要求額通りに計上した。</p>				

No.13

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	資源収集事業	事業区分	その他事業
事業概要	資源の拠点回収及び、家庭から分別排出されるペットボトル、空き缶・金属類を、環境センターや中間処理施設に運搬する事業である。 ・資源の拠点回収：毎週土・日曜日に市内4か所を実施 ・ペットボトル、空き缶・金属類：月2回収集※ ※5月3日～5日が月～金曜日にあたる場合、平成31年度から収集日とする。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
110,515千円	110,007千円	△508千円		110,515千円	+508千円
KPI	受益者など(見込)	資源(ペットボトル・空き缶・金属類・拠点回収)の収集量：2,800トン	対象1トンあたり	39,469円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一部の委託料を一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、ゴールデンウィークの5月3日～5日が月～金曜日にあたる場合の収集についても取り組んでいくことが、市民の利便性アップなどにつながると判断し、要求額通りに計上した。				

No.14

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	資源リサイクル事業	事業区分	その他事業
事業概要	家庭から収集資源として回収したペットボトル及びプラスチック製容器包装や、有害ごみとして回収した水銀含有廃棄物(乾電池、蛍光管、鏡、水銀体温計等)を適正に中間処理する事業である。 (選別・圧縮等の中間処理をした後、リサイクル業者へ引き渡す。)				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
162,098千円	162,098千円	0千円		162,098千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	収集資源及び有害ごみの再商品化量：3,685トン	対象1トンあたり	43,988円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.15

担当課室	環境部清掃対策課	事業名	資源回収推進助成事業	事業区分	その他事業
事業概要	資源の分別収集の円滑な推進を図るために、町内会や子ども会などの実施団体に対して回収量等に応じた助成を行う事業である。 ・資源回収事業(町内回収資源)：月1回実施(市が協定締結する資源組合が回収) ・資源再利用推進奨励金(集団回収)：随時実施(子ども会等の団体が自主的に回収)				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)		③	増減(③-②)
286,141千円	286,141千円	0千円		286,141千円	0千円
KPI	受益者など(見込)	資源回収(町内回収資源及び集団回収)の回収量：8,350トン	対象1トンあたり	34,268円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.16

担当課室	環境部施設管理課	事業名	ごみ焼却施設管理運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	ごみ焼却施設では、市内から排出された可燃ごみを環境汚染が生じないよう焼却処理し、減容化を図っている。また、焼却処理にて得られる余熱を利用して発電することで、施設内及び隣接公共施設の使用電力の確保と、余剰電力を売電することで歳入を得ている。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
378,379 千円	378,379 千円	0 千円	378,379 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	ごみ焼却量：100,190トン	対象1トンあたり	3,776 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.17

担当課室	環境部施設管理課	事業名	リサイクルセンター管理運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	市内から排出される不燃ごみ、粗大ごみ、資源(空き缶・金属類)の選別、破碎処理等を行うために設置されたリサイクルセンターを適切に管理運営し、搬入される廃棄物を適正に処理する。 5月3日～5日が月～金曜日にあたる場合、平成31年度から稼働日とする。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
123,347 千円	123,347 千円	0 千円	123,347 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	リサイクルセンター処理量：7,293トン	対象1トンあたり	16,913 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.18

担当課室	環境部施設管理課	事業名	最終処分場管理運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	光明寺最終処分場は管理型の処分場であり、環境センターから排出される焼却残渣、破碎後の不燃物等を平成16年度から適正に埋立て処理をしている。また、処分場の延命化のため、焼却残渣を市外の民間最終処分場等へ搬出をしている。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減 (②-①)	③	増減 (③-②)	
379,714 千円	379,714 千円	0 千円	379,714 千円	0 千円	
KPI	受益者など(見込)	最終処分場埋立量：14,509トン	対象1トンあたり	26,170 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.19

担当課室	環境部施設管理課	事業名	環境センター一般管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	環境センターでは、市内で収集したごみのほかに、許可事業者等が収集したごみ、市民が直接持込むごみを受入れているのをはじめ、各種業務を行っているため、事務所へ訪れる来客者が戸惑わないように利用する方々の安全確保に努めている。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
120,654千円	120,654千円	0千円	120,654千円	0千円	
KPI	受益者など(見込)	ごみ持込受付日数：256日	対象1日あたり	471,304円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.20

担当課室	環境部施設管理課	事業名	ごみ焼却施設定期修繕事業	事業区分	投資的事業
事業概要	ごみ焼却施設は、ごみを安定的に焼却するために各種機器等があるプラント設備である。長期に維持するため、計画に沿って、修繕や補修等を定期的実施することで、施設の保全を図る事業である。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
329,351千円	0千円	△329,351千円	329,351千円	+329,351千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市H30.10.1現在人口：385,709人	対象1人あたり	853円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、市民の生活環境維持にとって不可欠な事業であるため、要求額通りに計上した。				

No.21

担当課室	環境部施設管理課	事業名	ごみ焼却施設蒸気タービンローター取替事業	事業区分	投資的事業
事業概要	ごみ焼却施設では市内から排出された可燃ごみを焼却処理し、余熱を利用して発電を行なっている。発電により施設内及び隣接施設の電力確保と、余剰電力の売電による歳入を得ている。発電を行なうためのタービンの車軸の精密点検を実施したところ、動翼部に傷が確認された。蒸気の負荷を考えると傷が進行する可能性が高く、早急な取替が必要なため実施する事業である。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①	②	増減(②-①)	③	増減(③-②)	
171,720千円	0千円	△171,720千円	171,720千円	+171,720千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮市H30.10.1現在人口：385,709人	対象1人あたり	445円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、施設の安定稼働のために不可欠な事業と判断し、要求額通りに計上した。				

No.22

担当課室	環境部施設管理課	事業名	エコハウス138・ゆうゆうのやかた事業	事業区分	その他事業
事業概要	「エコハウス138」は、地域住民の体力及び健康の保持及び増進を図るとともに、環境問題等に関する理解と認識を深めるため、また「ゆうゆうのやかた」は、心と身体をリフレッシュする場とすることをそれぞれ目的として設置し、平成20年度から指定管理者により管理・運営を行っている。				
マニフェスト	9 健康寿命の長い地域づくりに取り組みます				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
127,063 千円		127,063 千円		127,063 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	施設利用者：442,406人	対象1人あたり	287 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.23

担当課室	環境部浄化課	事業名	衛生処理場管理運営事業	事業区分	その他事業
事業概要	衛生処理場では、市内から排出されたし尿及び浄化槽に溜まった汚泥を環境汚染が生じないように処理している。また、処理場で処理しきれないし尿及び浄化槽に溜まった汚泥は、公共下水道施設へ排水し処理している。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
171,807 千円		171,745 千円		171,745 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△62 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	し尿処理人口及び浄化槽人口：197,591人	対象1人あたり	869 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査し、委託料の履行時期を精査し一部減額した。				

No.24

担当課室	環境部浄化課	事業名	公衆便所清掃事業	事業区分	その他事業
事業概要	公衆便所条例に基づき、公衆便所の清潔を保持していくため市内公衆便所のうち、180箇所の清掃を行う。				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
30,577 千円		30,577 千円		30,577 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	公衆便所箇所(浄化課清掃分)：180箇所	対象1箇所あたり	169,872 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.25

担当課室	環境部浄化課	事業名	浄化槽設置補助事業	事業区分	その他事業
事業概要	生活排水による河川等の水質汚濁の防止を図るため、既設の単独処理浄化槽またはくみ取り便槽の使用をやめ、合併処理浄化槽に転換する者に補助を実施する。 【設置費補助金額】5人槽332,000円、6・7人槽414,000円、8～50人槽548,000円 【撤去費補助金額】5～50人槽（単独処理浄化槽を撤去する転換設置の場合に加算）90,000円				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
22,280 千円		22,280 千円		22,280 千円	
K P I	受益者など (見込)	補助金申請者 : 57人	対象1人あたり	390,877 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.26

担当課室	環境部浄化課	事業名	浸水世帯汲取助成事業	事業区分	その他事業
事業概要	集中豪雨等によりくみ取り便槽が浸水した世帯の経費負担軽減と環境衛生の保持をはかるため、浸水便槽のし尿くみ取り料の半額を助成する。 【助成金額】し尿くみ取り料の半額（参考：助成金単価 18L 当り100円）				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
1,000 千円		600 千円		600 千円	
K P I	受益者など (見込)	くみ取り便槽使用世帯 : 7,425世帯	対象1世帯あたり	80 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査し、受給者数の見込みを過去の実績に照らして一部減額した。				

No.27

担当課室	環境部浄化課	事業名	真清田神社前等公衆便所修繕事業	事業区分	臨時事業
事業概要	市内に設置されている公衆便所のうち、利用者が多く、快適性・利便性向上の要望が高い真清田神社前及び大宮市場角公衆便所について、和式便器を洋式便器に変更するなどの改修を行う。				
マニフェスト	—				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
増減 (②-①)		増減 (③-②)			
7,826 千円		0 千円		7,826 千円	
K P I	受益者など (見込)	真清田神社前・大宮市場角公衆便所利用者(年間) : 97,000人	対象1人あたり	80 円	
査定結果の理由等	市全体の予算規模を踏まえて一旦保留したが、事業の優先度を再検討した結果、市民の利便性向上のため、必要な事業と判断し、要求額通りに計上した。				

No.28

担当課室	環境部霊園管理事務所	事業名	一宮斎場管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	人体、及び、家庭で飼われていた動物等の火葬を行うために設置された一宮斎場の管理運営を行う事業 ・火葬炉 13炉 ・動物炉 1炉 ・汚物炉 1炉				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
188,491 千円		188,477 千円		188,477 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		△14 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	一宮斎場火葬件数(人体、犬・猫等) : 6,251件	対象1件あたり	30,151 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額を精査した結果、火葬炉残灰処理業務検査の旅費を見直して一部減額した。				

No.29

担当課室	環境部霊園管理事務所	事業名	尾西斎場管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	人体、及び、家庭で飼われていた動物等の火葬を行うために設置された尾西斎場の管理運営を行う事業 ・火葬炉 5炉 ・動物炉 1炉				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
45,174 千円		45,174 千円		45,174 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	尾西斎場火葬件数(人体、犬・猫等) : 1,652件	対象1件あたり	27,345 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				

No.30

担当課室	環境部霊園管理事務所	事業名	墓地管理事業	事業区分	その他事業
事業概要	市営3墓地(常光墓地、奥町墓地、東島霊園)の維持管理、修繕、区画貸出等、墓地の管理運営を行う業務 常光墓地 : 昭和5年開設 奥町墓地 : 昭和11年開設 東島霊園 : 昭和13年開設				
マニフェスト	-				
担当課室要求額		財政担当査定額		市長査定額	
①		②		③	
7,187 千円		7,187 千円		7,187 千円	
		増減 (②-①)		増減 (③-②)	
		0 千円		0 千円	
KPI	受益者など(見込)	墓地使用者 : 8,261人	対象1人あたり	869 円	
査定結果の理由等	事業内容及び要求額が妥当であると判断した。				